

“サロン”+ “いきいき体操教室”で健康寿命を更に延ばしましょう！！

今月からいきいき体操教室が各サロン会場3ヶ所で開催しました。いきいき体操教室は今までサロンで行っている健康体操と脳トレを行い、更に開始時には全員の体力測定を行い、来年3月の終了時にも測定し、体力の変化を確認します。目的はサロンと同じく健康寿命延長と認知症予防を図るように進めて参ります。11/10（火）湯郷渡サロン（参加14名 佐川典子 ニチイ学館）下母畑サロン（参加11名 講師 矢内貴子 保健福祉課）、11/13（金）上母畑サロン（参加17名 講師 廣田智 理学療法士）から『いきいき体操教室』が開始にあたり根本雅子主任保健師（健康増進係）からいきいき体操教室の進め方について説明があった。いきいき体操教室講師は各地区とも廣田智理学療法士によって進められ事になった。



湯郷渡サロン



上母畑いきいき体操教室で挨拶する根本主任保健師



下母畑サロン



湯郷渡いきいき体操教室参加者全員で健康体操実施



上母畑いきいき体操教室参加者全員で健康体操実施



上母畑いきいき体操教室参加者全員で体力測定実施

12月の行事

1日（火） 9:30 湯郷渡サロン
講師：井上真由美（リードシステム）
5日（土） 13:30 書道教室
7日（月） 10:00 高齢者学級
町議会一般質問傍聴
8日（火） 13:30 下母畑サロン
講師：井上真由美（リードシステム）
9日（水） 13:30 白菊学級
10日（木） 13:30 ハーモニカ教室
11日（金） 9:30 上母畑サロン
講師：廣田智（理学療法士）
11日（金） 18:00 自主防災部会

16日（水） 13:30 第3回福祉部会
17日（木） 9:30 湯郷渡いきいき体操教室
講師：廣田智（理学療法士）
19日（土） 13:30 書道教室
24日（木） 9:30 下母畑いきいき体操教室
講師：廣田智（理学療法士）
24日（木） 13:30 ハーモニカ教室
25日（金） 9:30 上母畑いきいき体操教室
講師：廣田智（理学療法士）
26日（土） 13:30 書道教室
12/29～1/3 年末年始休暇

編集後記 文化祭が母畑区民の皆様のご協力の元、盛会裏に終了することが出来ました。来年はコロナも収束してカカシまつりが一緒に出来ると良いですね。今年も残すところ僅か1ヶ月となりました。皆さんはやり残したことはありませんでしたか、早くコロナが払拭すると良い年が迎えられますね！

母畑自治センターだより

母衣旗

今月の題字（286）小6 添田 悠月さん

教育目標

「輝け！

母衣旗」

令和2年12月

第569号

発行日

令和2年12月1日

発行所

母畑自治センター

責任者

センター長 瀬谷 長一

令和2年度母畑地区文化祭開催！

11月1日（日）母畑自治センターホールにて母畑地区文化祭（委員長 添田安夫）が開催された。文化祭の展示品は、母畑地区民の方々の出展ご協力を頂きまして盛大に挙行できました。展示品を写真で紹介します。



サツマイモ掘り！

11/1みんなの農園で母畑子ども育成会の親子がサツマイモ掘りを行いました。



『母畑ふるさとマップ』(11)

東の八幡神社について

母畑実年大学講座生 関根 香代子

東八幡神社は母畑ダム下の母畑・蓬田線の道路脇に石の鳥居があり、三十七の石段を上った所に、左右手洗い、右に昭和五十一年四月二十九日三瓶清重の勲五等瑞宝章受章記念碑が建っている。更に六十三段登がると二間四方の拝殿と板萱屋根に彫刻が施されたお宮の奥殿がある。

祭神は誉田別命(応神天皇)といわれ、旧の九月十九日の祭日に吉田宮司が祭司を行い、ささら踊りの三匹獅子舞が奉納されたが、現在は社に頭を供えるだけとなっている。享保十九年に東八幡神社と七森の蘇染木神社とで氏子を二分した時の「寛書」が残っている。

約定一札之事

左之通り祭礼ニ当リ東西ニ於テ式分シ、今後先双方異議無ク両社前ニ於テ奉納ス
事・・・・・・

・・・・分離承認之上約定書越両方へ差交シ置候者也

享保十九申寅稔八月十五日 庄屋助右衛門 花押

東内出雲掛様

母畑の戦国時代

令和2年のNHK日曜日夜8時からの大河ドラマ「麒麟がくる」で明智光秀が主役の放送がされておりますが、この母畑にも戦国時代の戦いがありました。
須釜村史によれば須釜大寺城主一九代清光公と石川城主大和守昭光公が母畑の地で領地境界争いから戦端に及びました。この戦いを母畑油穀の戦い」といいます。

母畑油穀の戦い 須釜村史大寺城のてんまつから

油穀の戦い場は、母畑一本松より元湯を経て、八幡平湯坂(下の湯)辺の地にして、大寺軍は母畑、須釜境藤汲沢に陣を置き戦った。当時の戦いを村史に依り列挙すれば天正年中(一五七三―一五八〇)、大寺城主・中務太輔清光公は、中野に一族の塩沢丹後守高平を置き、領土は中野、塩沢二か村を所領させる。
時に、石川の三芦城主・大和守昭光の臣、曲木播磨守信光なる者、ひそかに之を奪はんとして、丹後守高平を説き誘って石川三芦城主に貢賦を納め、清光を悪言すれば、昭光は益々、中野、塩沢の地を侵かすに至る。

大寺城主清光公は大いに怒り、天正十年十月七日、遂に兵を挙げて、石川昭光を討たんと意を決する。家老大野修理介行宗を総大将として、吉村民部之介金貞を副将とし、安部備後清任、野口丹波金光、円谷内記、大寺主殿之助必吉、塩沢備後茂貞、鈴木若狭之介保澄、矢吹内蔵之助重房、益子久兵衛金正、大木伊賀之助吉貞、新森左衛門則金以下二百余人を率之赴き、大野、塩沢、大寺、安部、吉村、円谷等は抜刀隊を編成し、各々二十人を率い、野口、益子等は槍手各々二十人、矢吹、森等の隊は弓手二十人を引率する。

七日、黎明、母畑字樋田坂に至り陣を構え、物見を遣わして敵の動静をうかがう。清光公、又、別に大野筑前宗高、安部但馬常任等を尾組の将として、兵八十余人を率い、母畑村境に陣を布く。現在、尾組平と呼ぶところである。

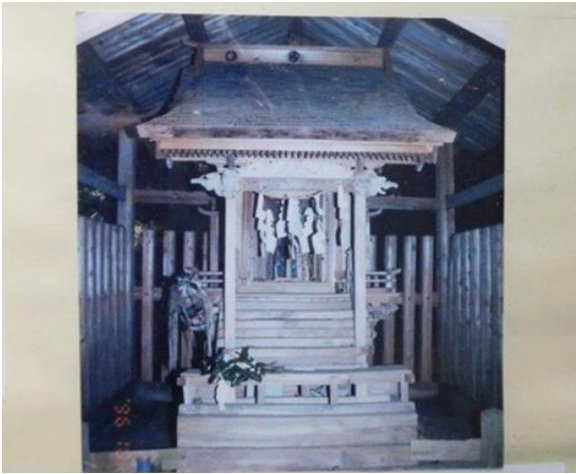
続きは、一月号に掲載いたします。

第3回北須川溪谷ウオークラリー

11/7(土) 9:00~母畑まちづくり委員会(委員長 関根正夫)による第3回北須川溪谷ウオークラリーが17名の参加の下開催された。



7 八幡神社



母畑字東二三八



